

事件・事故、自殺などへの危機介入・緊急支援

liaison aide

課題 problem

工場の火災や従業員の自殺などの緊急事態が起きたとき、迅速かつ的確なメンタルケアが求められます。

このような状況では、従業員の精神的ダメージのみならず、モチベーションやパフォーマンスの低下、会社に対する不信感の増大が起こりえます。さらには、事件が明らかになって世間に影響や不安を与えたり、社会的信用が失墜したりすることもあり、対応を誤ったり後手に回ったりすると、人的・経済的損失は計り知れません。

つまり、EAP（従業員支援）、CSR（企業の社会的責任）だけでなく、BCP（事業継続計画）の観点からも、早期にメンタル面に着目した緊急対応が必要といえるのです。

アプローチ approach

■人事労務担当者(組織本体)への支援

・事案発生直後の急性期の短期的アプローチ（危機介入）

状況の確認、整理をし、「非日常的な出来事」に遭遇し、動揺、混乱している個人、組織へ介入し、心理的援助を行います。混乱、麻痺、疲弊し、一時的に機能不全に陥っている組織を「通常レベル」にまで立て直すことを目標とします。

・事案発生後の中長期的アプローチ（緊急支援）

事案の規模や影響の大きさ、深刻度などにより、アフターフォローや中長期的アプローチを行います。人事労務担当者や管理職に対し、職場内での対応についてサポートいたします。

■当事者や同僚・同部署の方、目撃者などへの支援

・心理的に大きなダメージを及ぼす可能性のある強いストレスに曝されたことによる、心身の健康状態を確認いたします。医療やカウンセリングが必要な方がいないか早期に見極め、迅速に必要なサポートにつなげ、一時的なストレス「反応」が「症状」にならないよう最善を尽くします。

・場合によっては、当事者のご家族へのケアやサポートもご提案いたします。

■職場内支援者への支援

・人事労務担当者や事案発生部署の長、社内産業保健スタッフなど、危機対応に追われる方々の精神的・肉体的負担や疲労、重圧は計り知れません。また、ご自身も被害者や当事者であることも少なくありません。にもかかわらず、「支援者」、「担当者」という立場・役割上、ご自身のことは後回しで1人で抱え込み、疲弊してしまうことが起こりやすいのです。

このような「支援者の陥りやすい状態・状況」についてご説明しながら、セルフケアやサポート体制についてアドバイスいたします。

無断転載禁止

合同会社 liaison aide（リエゾンエイド）

〔TEL〕 03 (6869) 7321 〔MAIL〕 info@liaison-aide.net

〔URL〕 <http://www.liaison-aide.net>

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15 ウィン青山 942